

5A 病棟

看護師長 向井 理恵

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

心カテ介助ができるスタッフの育成ではリーダー看護師 4 名、介助を行う看護師 10 名が独り立ちすることに繋がった。また、OJT 企画書を作成し、3 部署共に勉強会の実施した。全ての勉強会における評価達成指標が 80%以上となり、重症患者の管理や急変の対応時に実践で活かすことができた。

2) 病院経営に参画する

病床利用率と重症度、医療・看護必要度を踏まえて、日々リーダーと医師と相談し調整を行ったが、ICU56.5%、CCU68.3%、PCCU は 73.6%と減少した。SPD シールの紛失防止に関しては、紛失数と金額を定期的に周知し、使用頻度の少ない医療物品においては定数削減を図る等の措置を行った。結果、紛失率 1.4%となり、無駄な支出の低減に繋がった。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

転倒転落防止を検討し対策した結果、前年度の 15 件より今年度は 12 件と 8 割減少した。レベル 3b 事例は ImSAFER での分析を行い、対策を検討し実施することで同様の事故を防止することができた。インシデント総件数は 115 件で、薬剤に関するインシデント 37 件の内、確認不足によるものは 33 件 (89.1%)となった。6R の確認が習慣になるように取り組みを行い、今後の確認不足のインシデント減少につなげたい。

4) 活気ある職場、元気の出る職場作りを推進する

休憩時間の取得に関しては、各勤務帯のリーダーと協力し勤務の始まりから業務内容を把握し休憩時間を計画することで、休憩時間の未取得の減少と超過勤務時間の減少に繋がり、スタッフが体調を崩すことなく看護実践できることに繋がった。

2. 病床運営状況

表 1 令和 4 年度 病床運営状況

看護単位	収容可能病床数(床)	月平均		平均在院患者数(人)	平均在院日数(日)	病床利用率(%)	病床稼働率(%)	重症加算病床		集中治療室		死亡者数(人)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)					病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
PCCU	20	104.3	32.6	14.7	6.5	75.3	79.0	12	72.4			10
ICU	6	12.0	1.25	3.4	27.2	56.5	57.2			6	57.2	12
CCU	4	10.8	1.58	2.7	14.3	68.3	69.6			4	69.6	9

3. 看護体制

表 2 令和 4 年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)	夜勤体制(準:深)	夜勤体制(準:深)
69	PNS 方式	ICU 3:3	CCU 2:2	PCCU 3:3

4. 看護統計

1) 重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 4 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ (PCCU)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準を満たす患者の割合(%)	47.0	40.4	50.6	54.5	50.8	52.7	59.3	62.1	57.8	52.4	58.1	52.5	53.3

表 4 令和 4 年度 特定集中治療室 重症度、医療・看護必要度Ⅱ (ICU・CCU) 4~9月は重症度、医療・看護必要度Ⅰ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ICUの基準を満たす患者の割合(%)	98.0	96.1	100.0	100.0	98.5	98.4	91.9	93.3	83.5	94.7	90.1	79.5	93.8
CCUの基準を満たす患者の割合(%)	94.8	86.6	93.1	96.3	91.4	92.4	91.4	87.1	94.7	95.7	96.6	97.8	93.5

2) 部署データ

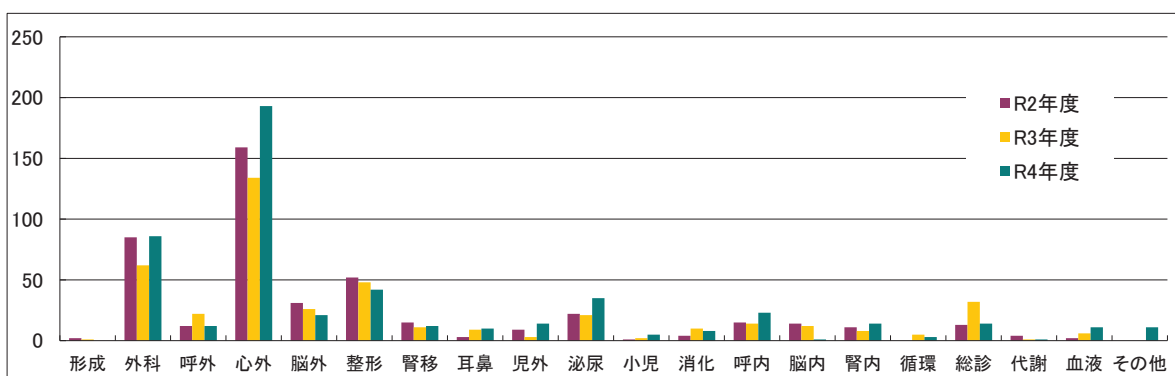


図1 ICU 診療科別患者入室件数

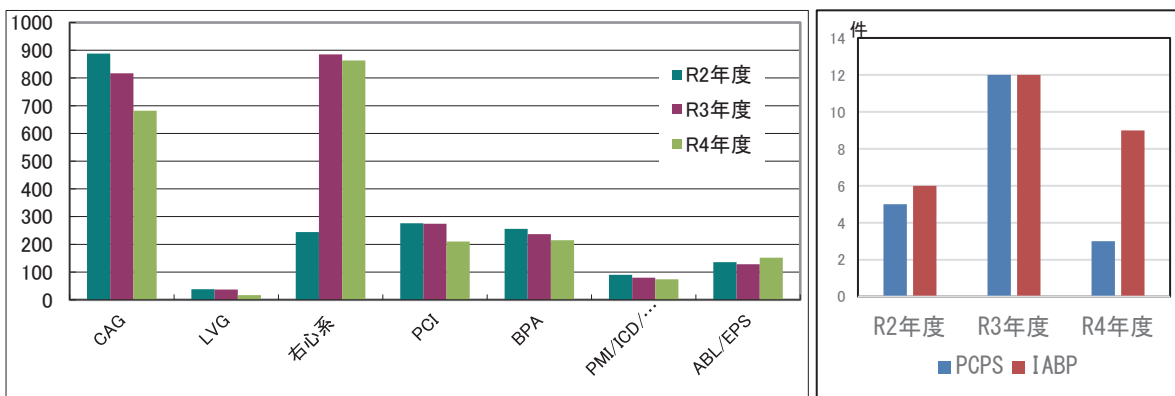


図 2 5 階カテーテル検査室心臓カテーテル件数(検査及び治療・処置)

図 3 PCPS・IABP 件数

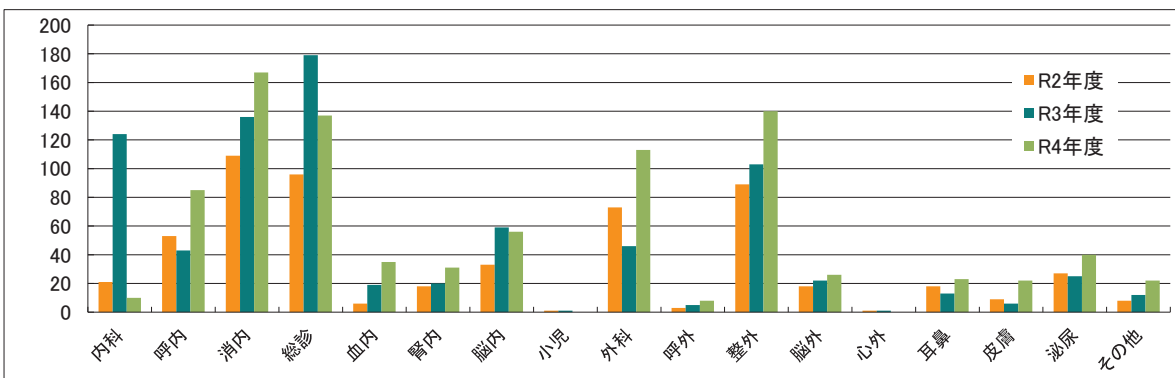


図 4 PCCU 診療科別(循環器内科を除く)夜間救急入院件数